



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成28年 7月13日

『スクラム・スクール運営協議会』から

白羽小をともにつくる家庭、地域の皆様、『コミュニティ・スクール』『地域とともにある学校づくり』という言葉をご存知でしょうか。近年、文部科学省や静岡県教育委員会が『社会総がかりでの教育』を提唱し、その事業として推進している取り組みです。御前崎市でも『御前崎市型コミュニティ・スクール』として「スクラム・スクール運営協議会」が昨年度より設置されました。これは、中学校区を一つの学校にとらえ、保育園幼稚園こども園、小学校中学校高校までが、一貫した取り組みを行う『御前崎市スクラム・スクールプラン』を推進するために、学校・家庭・地域が一体となって協議し合い、取り組んでいこうという先進的な事業です。本校からは、小杉PTA会長様、校長、落合教務主任が委員として出席しています。

実は、本校で実施している『白羽小あいさつの日』の取り組みも、このスクラム・スクール運営協議会で話し合われ「スクラムグットマナーの日」としてスタートしたものです。御前崎中学校区の子どもたちが明るく、元気に健やかに成長してほしい、自分でできることをもっともっと増やし自信をもってほしい、主体性を育てたい等々、学校家庭地域の様々な立場の方たちが集まって、よりよい家庭地域学校の教育のあり方について検討し合い、まず『あいさつで大人も子どももつながろう』と取り組んでいます。

7月11日の「白羽小あいさつの日」には、たくさんの地域や御家庭の皆様が参加してくださいました。また、校門では、児童会生活委員が一緒にあいさつを行い、白羽保育園幼稚園の先生方や、PTA本部役員の皆様も校門に立ち、子どもたちにあいさつのシャワーを浴びせてくれました。信号機から校門までの歩道は、まさに『白羽小あいさつ通り』となりました。子どもたちのあいさつの声も大きくなり、笑顔のあいさつも増えました。うれしいことです。『大人と子どもがあいさつでつながろう』という、皆様の働きかけのおかげに心より感謝いたします。ありがとうございます。

「子どもを変えようと思ったらまず大人から」の意識で、皆様が子どもたちのために働きかけてくださっていることが、子どもたちの姿に表れ始めています。これからも一緒に白羽小をつくってください。よろしくお願いいたします。

『 7月11日(月) みんなのあいさつでつくった白羽小あいさつ通りの風景 』 より

